

学びや

タイムスリップ

学区民の思いを伝える

1869(明治2)年、京都には全国初の学区制小学校が64校建てられました。子どもたちが学問を学ぶ場でありながら、集会所や警察、消防などの多くの機能を持っていた校は従来から建物のある

1868(明治元)年ごろ。下京第十一番組小学校として建てられた開智小(下京区)が描かれた

1877(明治10)年

その一つ、「開智校写生画巻」は現存する貴重な資料です。描かれたの

1869(明治2)年、京都には全国初の学区制小学校が64校建てられました。子どもたちが学問を学ぶ場でありながら、集会所や警察、消防などの多くの機能を持っていた校は従来から建物のある

1868(明治元)年ごろ。下京第十一番組小学校として建てられた開智小(下京区)が描かれた

1877(明治10)年

その一つ、「開智校写生画巻」は現存する貴重な資料です。描かれたの

学校は時代の最先端施設。まさに学区の中心で、学区民の誇りでした。その学区民の喜びが表れているのが、明治初期の「学校を描いた絵画」。学区民によって、小学校の立派な姿を広く伝えるために画家に依頼され、描きとどめられたもので

1868(明治元)年ごろ。下京第十一番組小学校として建てられた開智小(下京区)が描かれた

1877(明治10)年

その一つ、「開智校写生画巻」は現存する貴重な資料です。描かれたの

学校は時代の最先端施設。まさに学区の中心で、学区民の誇りでした。その学区民の喜びが表れているのが、明治初期の「学校を描いた絵画」。学区民によって、小学校の立派な姿を広く伝えるために画家に依頼され、描きとどめられたもので

1868(明治元)年ごろ。下京第十一番組小学校として建てられた開智小(下京区)が描かれた

1877(明治10)年

その一つ、「開智校写生画巻」は現存する貴重な資料です。描かれたの



①「開智校写生図」(明治初期、元開智小蔵) ②京都市学校歴史博物館提供 ③久保田米傳筆「嘉楽校之図」(1877年、嘉楽中蔵) ④同

ています。校舎はもと神道黒住派教会所を建て増して作られました。

絵は、左右の門柱に横木を渡した冠木門の奥に講堂が描かれ、瓦ぶき屋根には鴟尾が飾られています。さらに右手にあるのは消防の機能を象徴する望火楼で、小学校の目印だったことがわかります。

「嘉楽校之図」は1877年に画家の久保田米傳によって描かれたものです。嘉楽校(上京区)は1869年に上京第四番組小学校として開校。その8年後、隣地の般舟三昧院に移転し、寺院の建物を持舎として使っていました。

最初の門をくぐると、瓦ぶき屋根の大きな門と、左手には楼閣がそび

「開智校写生画巻」は現存する貴重な資料です。描かれたの

1868(明治元)年ごろ。下京第十一番組小学校として建てられた開智小(下京区)が描かれた

1877(明治10)年

その一つ、「開智校写生画巻」は現存する貴重な資料です。描かれたの



(京都市学校歴史博物館 学芸員 森光彦)